

文書館関係文献目録稿

(昭和五十四年一月～昭和六十一年三月)

佐原 和久
石川 美代子

文書館とは、歴史的価値のある文書資料及び記録類等の収集・管理を行い、一般及び公務の利用に供すると共に、諸資料に関する専門的な調査研究を行う機関である。

埼玉県立文書館ではその主旨を受けて、昭和四十四年の開館以来古文書や県の公文書の収集・整理・保存事業や、調査研究事業、教育普及事業を行い、教育・学術及び文化の発展に寄与している。

文書館等の歴史資料保存利用施設は、当館発足当時、ほんの数館にすぎなかった。しかし、本館が事務局をしている全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)も、現在機関会員五十六団体、個人会員八十一名になり、関係機関の増加は著しいものがある。これは最近の傾向で、国や都道府県ばかりでなく、市町村、大学、企業関係まで広がりを見せている。

さらに、「文書館法」制定に向けての動きも活発になり、昭和六十一年八月に行われた文書館国際会議や、十月の全史料協全国大会に於ても、この問題が積極的に論議された。そして、文書館に関する諸論考もさまざまな場に於いて発表されている。

昭和五十三年以前の文書館関係文献については、地方史研究一五

〇(大村進編)、広島市公文書館紀要(創刊号、一号)でまとめられているが、それ以降の関係文献もかなりの数になると推定される。そこで、本稿を編集し、これらを文書館界共有の財産としようとするものである。

なお、文献収集は積極的に行なったが、時間の制約や情報収集に片寄りがあり、全国的には網羅できなかった面もある。今後多くの方々の御指導御協力により追補していきたいと考えている。

全国に文書館建設の槌音が聞かれる中で、その指針となり、ひいては文書館学の確立及び体系化の一助となれば幸いである。資料収集に御協力いただいた関係各位に深謝の意を表します。

凡 例

一 文献収集の範囲については、次のように規定した。

対象資料 一般刊行図書と雑誌類を中心とした。

新聞、パンフレット、手稿本及び外国文献は除いた。

期 間 昭和五十四年一月から昭和六十一年三月までに刊行発表されたものを対象とした。

内 容 文書館法及び文書館の機能建設に関するもの、文書の収集

・整理・保存利用に関するものに限定した。情報公開に関

するものは、文書館と関係のあるものだけに限定した。文書館関係の個別法令集等は除いた。

二 記載の順序は、表題名、著者名、収録雑誌・書名、巻号・通巻番号、刊年月(西暦)の順で、配列は刊年月順とした。

一九七九年(昭和五十四年)

北欧古文書館瞥見記 沼田次郎 日本歴史三六八(79・1)

地方史の編纂と行政資料 榎森進 赤れんが(北海道行政資料室資料情報連絡誌)五六(79・3)

行政資料室発足時を顧みて 中吉繁蔵 赤れんが五六(79・3)

回顧一年(茨城県歴史館)綿引一夫 茨城県歴史館報六(79・3)

パンフレット資料の収集・整理 竹林忠男、小山雄一、中川正己

京都府立総合資料館七(79・3)

近世史料体系化への道 中井信彦 国立史料館三〇(79・3)

外国文書館見て歩き―昭和五三年度在外研究報告― 大野瑞男 国立史料館報三〇(79・3)

歴史資料保存利用機関連絡協議会第四回大会に出席して 原島陽一

国立史料館報三〇(79・3)

市町村土木行政文書の保存の必要性について(国有財産の処分に関

連して) 大沢三三 埼玉県市町村史編さん連絡協議会報五

(79・3)

公文書保存運動の全国的動き 埼玉県立文書館 埼玉県市町村史編

さん連絡協議会報五(79・3)

文書館関係文献目録稿(昭和五十四年)(佐原・石川)

さん連絡協議会報五(79・3)

公文書の保存に思う 竹内克好 埼玉県立文書館報六(79・3)

「近世史料学」をめぐる議論を―朝尾直弘氏の提言から― 柴

原敦 地方史新瀉一四(79・3)

歴史資料の保存に関する諸問題―「史料協」第四回総会参加によ

て― 小堺吉光 広島市公文書館紀要二(79・3)

広島県公文書館の現状と展望(鼎望)高亀保正 松林俊一 要田 豊

広島市公文書館紀要二(79・3)

公文書館関係文献目録 広島市公文書館紀要二(79・3)

史料保存と市町村史編纂 西垣晴次 房総の郷土史(千葉県郷土史

研究連絡協議会)七(79・3)

古文書研究会を顧みて―文化センター(仮称)建設を機に― 国広哲

也 文書館ニュース(山口県文書館)一三(79・3)

「長門市史」の編纂と史料収集 上田俊成 文書館ニュース一三

(79・3)

昭和五三年度第四回歴史資料保存利用機関連絡協議会大会参加記

所理喜夫 地方史研究二九―二(79・4)

国立国会図書館憲政資料室 桑原伸介 『日本古文書学講座11』

(79・4)

国立公文書館 永桶由雄 『日本古文書学講座11』(79・4)

外務省外交資料館 長岡新次郎 『日本古文書学講座11』(79・4)

国文学研究資料館史料館 原島陽一 『日本古文書学講座11』(79・

4)

北海道総務部行政資料課 鈴江英一 『日本古文書学講座11』(79・4)

福島県文化センター歴史資料館 誉田宏 『日本古文書学講座11』(79・4)

埼玉県立文書館 大村進 『日本古文書学講座11』(79・4)

東京都公文書館 片倉比佐子 『日本古文書学講座11』(79・4)

京都府立総合資料館 小嶋一夫 『日本古文書学講座11』(79・4)

大阪市立図書館 藤本篤 『日本古文書学講座11』(79・4)

山口県文書館 田村哲夫 『日本古文書学講座11』(79・4)

藤沢市文書館 高野修 『日本古文書学講座11』(79・4)

GHQ文書 竹前栄治 『日本古文書学講座11』(79・4)

文書資料と市民学習について―川崎市域の現状と今後の運動―新

井一弘 神奈川県地方資料公文書を守る会会報四(79・9)

厚木市域における歴史資料・公文書の保存状況について 藤野泰造

神奈川県地方資料公文書を守る会会報四(79・9)

歴史資料(紙に字を書いたもの)の保存と利用についての私心 土井

浩 神奈川県地方資料公文書を守る会会報四(79・9)

古文書の保存について 湯山賢一 神奈川県地方資料公文書を守

る会会報四(79・9)

新しい展望に 幅広い運動を 菊地康明 神奈川県地方資料公文

書を守る会会報四(79・9)

資料館めぐり―呉市入船山記念館 芸備地方史研究一二三(79・9)

資料館めぐり・広島市公文書館 芸備地方史研究(芸備地方史研究

会)一二二・一二二(79・6)

国際公文書館会議(ICA)との連絡 国立公文書館年報八(79・7)

市町村史資料保存をめぐって 石川良宣 濃飛史艸 岐阜県市町村

史研究連絡協議会一五(79・7)

行政文書等歴史資料保存の重要性 濃飛史艸一五(79・7)

学術会議(V)「文書館報」の制定をめざして 西垣晴次 地方史研

究二九―四(79・8)

図書館における史料整理について―図書と史料の違いを中心に―

深川美枝子 歴史論六(79・8)

古い蔵書印とラベル 原島陽一 国立史料館報三一(79・9)

先進的役割を期待する 長田寿英 地域史研究(尻崎市立地域研究

史料館紀要)九―二(79・10)

国立史料館の概要 地誌と歴史二二(79・10)

第四回歴史資料保存利用機関連絡協議会総会要旨 歴史資料保存利

用機関連絡協議会報四(79・10)

第四回歴史資料保存利用機関連絡協議会総会大会要請決議(案) 歴

史資料保存利用機関連絡協議会報四(79・10)

資料館の建設と機能 丸山幸太郎 歴史資料保存利用機関連絡協議

会報四(79・10)

官公庁文書の保存利用のための法制化に関する請願書 歴史資料保

存利用機関連絡協議会報四(79・10)

中部ブロック懇談会記録 歴史資料保存利用機関連絡協議会報四(79・10)

「資料保存の現状と問題点に関するシンポジウム」傍聴記 植田敏雄 歴史資料保存利用機関連絡協議会報四(79・10)

一研究者の思い出あれこれ—ジャカルタ国立公文書館を中心に— 岩生成一 南方文化六(79・11)

県史の動向—県史の動向と史料保存の運動について(二)— 県史史料保存担当委員 新潟史学一二(79・11)

近代資料とその取扱い方 庄司吉之助 福島史学研究(福島県史学会)二七・二八(79・11)

歴史資料館における近代資料の収集と公開 菅田宏 福島史学研究二七・二八(79・11)

地方史研究と資料保存について 芸備地方史研究会委員会芸備地方史研究一二四(79・12)

一九八〇年(昭和五十五年)

福島県歴史資料館について 菅田宏 地誌と歴史二三(80・1)

学術会議報告(五)「資料保存の現状と問題点」シンポジウムその他 西垣晴次 地方史研究三〇—一(80・2)

フランスの文書館制度—研究文書と文書の収集— 堀井敏夫 地域

文書館関係文献目録稿(佐原・石川)

研究いたみ(伊丹市立博物館)一〇(80・3)

国際公文書館週間関係英文資料 北の丸(国立公文書館報)一二(80・3)

国際公文書館週間記念講演「米国における公文書館制度の沿革」 金井円 北の丸一二(80・3)

国際公文書館週間記念「日本および諸外国の公文書館展」展示会等報告 北の丸一二(80・3)

近代公文書の保存と利用について 松本平次 岐阜県歴史資料館報三(80・3)

歴史資料保存の動き 宗宮平蔵 岐阜県歴史資料館報三(80・3) 行政刊行物の保存整理について 岐阜県歴史資料館報三(80・3)

歴史資料の保存について—心より願っておられること— 宗宮平蔵 農飛史師(岐阜県歴史資料保存協会)一七(80・3)

第五回歴史資料保存利用機関連絡協議会参加記 安藤正人 国立史料館報三二(80・3)

国民共有の財産「古文書」を守るために 米津三郎 西日本文化(西日本文化協会)一五九(80・3)

久留米市の文書館設立について 古賀幸雄 西日本文化一五九(80・3)

民俗資料にも文書資料を 佐々木哲哉 西日本文化一五九(80・3) 古文書館設立について—佐賀県立図書館の場合— 神田精 西日本文化一五九(80・3)

- 時壇 文書館設置の急務 秀村選三 西日本文化一五九(80・3)
フランスの文書館制度―所蔵文書と文書の収集 堀井敏夫 地域研
究いたみ一〇(80・3)
- 地方史料館建設時代の到来 横山栄助 濃飛史艸二〇(81・3)
全国文書館設立運動の問題と現状 広田暢久 広島県史研究(広島
県総務部県史編さん室)五(80・3)
- 資料保存運動の方向について 山下優 広島県史研究五(80・3)
資料の保存について 小都勇二 広島県史研究五(80・3)
文書館をつくろう 兵庫県の歴史一七(80・3)
公文書館を求めて 青山孝慈 大和市史研究六(80・3)
イギリスの地方文書館とアーキヴィスト養成制度 安沢秀一 地方
史研究三〇―二(80・4)
- 歴史資料・特に文書資料保存活動の課題 永尾正剛 西日本文化
(西日本文化協会)一六〇(80・4)
- 山口県文書館と全国文書館設立運動 広田暢久 静岡県近代史研究
(静岡県近代史研究会)三(80・5)
- 「市民資料センター」構想(一) 新井勝紘 地誌と歴史二四(80・
5)
- 文書館の推進 小林安司 西日本文化一六一(80・5)
文書館への提言―歴史の証言者を殺さないために― 米津三郎 西
日本文化一六一(80・5)
- 国際公文書館会議(ICA)との連絡 国立公文書館年報九(80・6)
- 文書館の一つの役割 田代脩 埼玉県立文書館報七(80・6)
学術会議報告(六)「文書館法の制定について」(勧告)の成立 西垣晴
次 地方史研究三〇―三(80・6)
- 文書館の今後のあり方 広田暢久 西日本文化一六二(80・6)
「文書館法」実現のための課題 広田暢久 山口県地方史研究(山
口県地方史学会)四三(80・6)
- 「国立歴史民俗博物館」(仮称)の現状と問題点 津田秀夫 歴史学
研究四八二(80・7)
- 市町村史編纂の現状と文書館設置構想 須田茂 千葉県の歴史(千
葉県企画部県民課)二〇(80・8)
- 第五回歴史資料保存利用機関連絡協議会総会研究会要旨 歴史資料
保存利用機関連絡協議会報五(80・8)
- 文書館と歴史編さん事業―山口県文書館の場合― 広田暢久 歴史
資料保存利用機関連絡協議会報五(80・8)
- 埼玉県立文書館の現状と将来 森連 歴史資料保存利用機関連絡協
議会報五(80・8)
- 広島市における公文書の保存 近藤憲男 歴史資料保存利用機関連
絡協議会報五(80・8)
- 文書館法の制定について 日本学術会議 歴史資料保存利用機関連
絡協議会報五(80・8)
- 「文書館法」制定勧告のために 大野瑞男 歴史資料保存利用機関
連絡協議会報五(80・8)

神奈川大会参加印象記 佐藤次男 歴史資料保存利用機関連絡協議
会報五(80・8)

神戸にも史料館をつくれ 小野寺逸也 歴史と神戸(神戸史学会)一

〇一(80・8)

フランス・オランダの文書館 加藤栄一 国立史料館報三三(80・

9)

史料の原形保存 原島陽一 国立史料館報三三(80・9)

文書館法制定をめぐる文書館法制定のための提言 広田暢久

歴史学研究四八四(80・9)

東北歴史資料館 田中幹夫 地誌と歴史二五(80・10)

県史の動向―県史の動向と史料保存運動について 新潟史学二三

(80・10)

空調式文書保存庫の一五年 田中康雄 三井文庫論叢一四(80・11)

「文書館法」の制定を求めて 原島陽一 歴史学研究一一(80・11)

タイ国立公文書館の日本人蚕業顧問技師に関する文書 吉川利治

南方文化七(80・12)

古文書を拾いあつめて 庄司吉之助 地域史研究一〇―一(80・12)

文書館法制定についての学術会議の勧告 地域史研究一〇―一(80・

12)

教育庁舎を文書館に 秀村選三 西日本文化一六七(80・12)

公共図書館と文書館 永末十四雄 西日本文化一六七(80・12)

日米研究者による公文書の公開要請 歴史学研究四八七(80・12)

文書館関係文献目録稿(昭和五十五年)(佐原・石川)

一九八一年(昭和五十六年)

着工せまる京都市歴史資料館(仮称)―その経過と施設の概要―京

都市史編さん通信一四〇(81・1)

長野県文書館設立に関する請願書 信濃三三―一(81・1)

文書館設立についての添書 信濃三三―一(81・1)

文書館設立に関する請願 一志茂樹 信濃三三―一(81・1)

中国第一歴史檔案館訪問記 神田信夫 東方学(東方学会)六一(81・

1)

和歌山県の文書保存の現状と課題 安藤精一 和歌山県史研究八

(81・1)

埼玉県立文書館の現状と課題 吉本富男 和歌山県史研究八(81・

1)

歴史資料館開設準備の現況 三家多賀成 京都市史編さん通信一四

一(81・2)

静岡県文書館を考える1 公文書の保存意欲について 小木香 静

岡県近代史研究会会報二九(81・2)

文書館とは何か(1) 静岡県近代史研究会会報二九(81・2)

資料の保存と公開に市民も協力を 松本一郎 地域史研究一〇―二

(81・2)

渡名喜村の戦前行政文書 大城将保 沖繩史料編集所紀要六(81・

3)

自治省より移管された内務省関係公文書について 永桶由雄 北の丸一三(81・3)

明治二四年宮内省に移管した内閣文庫本について 平井芳男 長澤孝三 北の丸一三(81・3)

国際公文書館大会報告 鈴木幸三 北の丸一三(81・3)

歴史資料館開設準備の現況二 三家多賀成 京都市史編さん通信一

四二(81・3)

歴史資料館における古文書等の保存環境 各務義章 岐阜県歴史資料館報四(81・3)

料館報四(81・3)

伊能忠敬の飛騨測量について―飛騨郡代役所文書史料紹介 石原哲弥 岐阜県歴史資料館報四(81・3)

昭和前期の岐阜県における史料保存活動の一事例(予察)―岐阜県郷土博物館の建設― 伊藤克司 岐阜県歴史資料館報四(81・3)

瀬戸内海歴史民俗資料館とその活動 徳山久夫 国立史料館報三四(81・3)

二つの国際会議(文書館国際会議、図書館・文書館における資・史料の保存科学国際会議)に参加して 安澤秀一 国立史料館報三四(81・3)

第六回歴史資料保存利用機関連絡会議参加記 藤村潤一郎 国立史料館報三四(81・3)

料館報三四(81・3)

史料の原形保存(統) 原島陽一 国立史料館報三四(81・3)

文書館設立についての提案理由 小穴芳実 信濃三三―三(81・3)

西日本文化協会で講座「古文書学校」を 秀村選三 西日本文化一六九(81・3)

地方史料館建設時代の到来 横山栄助 濃飛史艸二〇(81・3)

歴史編纂の動向(2)―尼崎市立地域研究史料館 中村光夫 ヒストリア(大阪歴史学会)九〇(81・3)

史料調査・序説―史料館設置運動によせて― 桑山浩然 広島県史研究六(81・3)

研究六(81・3)

広島県立文書館への提言 芸備地方史研究会 広島県史研究六(81・3)

3)

神辺町内の文献資料の保存と活用 神辺郷土史研究会 広島県史研究六(81・3)

究六(81・3)

甲奴郡と県立文書館 甲奴郡文化財研究会 広島県史研究六(81・3)

3)

広島県立文書館の設立に期待するもの 赤木勇夫 広島県史研究六(81・3)

文書館に寄せる夢 阿川静明 広島県史研究六(81・3)

3)

県立文書館に期待するもの 今中保子 広島県史研究六(81・3)

3)

広島県立文書館の設立を望む 太田雅慶 広島県史研究六(81・3)

3)

「広島県立文書館」に期待するもの 岡崎環 広島県史研究六(81・3)

3)

「広島県立文書館」に望むこと 栗栖義典 広島県史研究六(81・3)

3)

文書館建設について―豊田郡安芸 町の場合― 阪田泰正 広島県史研究六(81・3)

地方の実情をふまえて文書館設置を提言する 下野岩太 広島県史研究六(81・3)

市町村史の編さんと「広島県文書館」 末永栄 広島県史研究六(81・3)

「広島県立文書館」に期待する 平井隆夫 広島県史研究六(81・3)

資料は史料として創造の世界にまで及ぶ 深川宗俊 広島県史研究六(81・3)

文書館における行政文書の課題 高崎進 藤沢市文書館紀要四(81・3)

文書館の業務内規の作成と今後の課題 高野修 藤沢市文書館紀要四(81・3)

藤沢市文書館における記録保存についての内規 藤沢市文書館紀要四(81・3)

千葉県立文書館の建設促進について(千葉県郷土史研究連絡協議会) 房総の郷土史九(81・3)

歴史資料館開設準備の現況(三) 三家多賀成 京都市史編さん通信一四三(81・4)

歴史資料保存・公開機関の性格と役割―茨城県歴史館を素材にして― 高橋実 地方史研究三一―二(81・4)

文書館関係文献目録稿(昭和五十六年)(佐原・石川)

第六回歴史資料保存利用機関連絡協議会の総会・研究会に参加して

水野保 地方史研究三一―二(81・4)

文書館関係資料(二) 静岡県近代史研究会 静岡県近代史研究会五(81・5)

大阪歴史科学協議会における文書館設置運動のあゆみ 村田路人 歴史科学(81・6)

埼玉県立文書館への期待 原島陽一 埼玉県立文書館報八(81・6) 情報公開と文書管理―行政情報の総合的利用の観点から― 松村雅生 ジュリスト七四二(81・6)

県立文書資料館の設立について 松下志朗 西日本文化一七二(81・6)

福岡県地域史研究所の発足―文書館の基礎作りと県史料の編纂― 秀村選三 西日本文化一七二(81・6)

大阪府市へ史料保存および文書館設立についての要望書の提出 ヒ ストリア九一(81・6)

歴史資料館開設準備の現況(五) 三家多賀成 京都市史編さん通信一四六(81・7)

国際公文書館会議との連絡 国立公文書館年報一〇(81・7)

天理図書館における近世文書の整理 平井良朋 古文書研究一六(81・7)

歴史資料館開設準備の現況(六) 三家多賀成 京都市史編さん通信一四七(81・8)

広島県立文書館への提言 芸備地方史研究一三一・一三二(81・8)
大阪における公文書館設立運動 小田康徳 地方史研究三一―四
(81・8)

歴史研究と資(史)料収集保存の課題―新修大阪市史編纂によせて―

津田秀夫 大阪の歴史四(81・9)

歴史資料館建設関係ニュース 京都市史編さん通信一四八

市史編さんと史料保存 本多寅太郎 国立史料館報三五(81・9)

第九回文書館国際会議での報告 安沢秀一 国立史料館報三五(81・

9)

整理の実務―史料の登録― 原島陽一 国立史料館報三五(81・9)

歴史資料館建設ニュース 京都市史編さん通信一四九(81・10)

文書保存行政の強化を 長野暹 西日本文化一七五(81・10)

第六回歴史資料保存利用機関連絡協議会総会研究会要旨 歴史資料

保存利用機関連絡協議会報六(81・10)

収集と整理上の諸問題 萩原末子 歴史資料保存利用機関連絡協議

会報六(81・10)

県史編さん事業と公文書の収集・整理 新田二郎 歴史資料保存利

用機関連絡協議会報六(81・10)

京都府立総合資料館における行政文書の収集・整理・公開 竹林忠

男 歴史資料保存利用機関連絡協議会報六(81・10)

東京大会参加印象記 小野田雅一 歴史資料保存利用機関連絡協議

会報六(81・10)

大会参加雑感 今井公子 歴史資料保存利用機関連絡協議会報六

(81・10)

参議院地方行政委員会における文書館法についての質疑 歴史資料

保存利用機関連絡協議会報六(81・10)

文書館等に関する調査結果報告書 歴史資料保存利用機関連絡協議

会報六(81・10)

歴史資料館建設ニュース 京都市史編さん通信一五〇(81・11)

明治期の行政資料と文書館 今津健治 西日本文化一八六(82・11)

零からの離陸(テイクオフ) 田中直樹 西日本文化一七六(81・11)

北海道立文書館設立運動の経過について 田端宏 井上勝生 船津

功 歴史学研究四九九(81・12)

一九八二年(昭和五十七年)

文献所蔵機関(四)―資料館・文書館(福島県文化センター)歴史資料

館、他) 家系研究(家系研究協議会)四(82・1)

歴史資料館建設ニュース 京都市史編さん通信一五三(82・2)

ふたたび静岡県文書館設立を要望する 田村貞雄 静岡県近代史研

究会会報四一(82・2)

文書館の設立を望む 日置彗左衛門 歴史手帖一〇〇(82・2)

病院内に「文書館」をつくる 阪田泰正 歴史手帖一〇〇(82・2)

史料保存と文書館 小野寺逸也 我孫子市史研究六(82・3)

県立文書館設立構想の意義 大城将保 沖繩史料編集所紀要(82・3)

郷土の古文書四万点を守ろう―鹿沼市立文書館の設置を― 熊田一

鹿沼史林(鹿沼史談会)二一(82・3)

歴史資料館建設ニュース 京都市史編さん通信一五四(82・3)

史料と保存科学―防殺虫をめぐる― 岩崎友吉 国立史料館報三

六(82・3)

第七回歴史資料保存利用機関連絡協議会参加記 大藤修 国立史料館報三六(82・3)

館報三六(82・3)

歴史資料館収蔵庫内ガスくん蒸消毒について 各務義章 岐阜県歴史資料館報五(82・3)

史資料館報五(82・3)

歴史資料としての公文書 森連 郷土神奈川二二(82・3)

本物の文書館を 細川章 西日本文化一七九(82・3)

町村役場文書の利用と保存―合併町史の編集を終って― 松林俊一

広島県史研究七(82・3)

広島県立文書館建設基本構想について 広島県史研究七(82・3)

町村役場文書の利用と保存 松林俊一 広島県史研究七(82・3)

「松崎文書館」の完成に当たって思うこと 中村正夫 西日本文化

一八〇(82・4)

歴史資料館建設ニュース 京都市史編さん通信一五五(82・4)

シンポジウム「大阪における文書館設立問題を考える」の記録 村

田路人 地方史研究三二―二(82・4)

文書館関係文献目録稿(昭和五十七年)(佐原・石川)

文書館報と情報公開法―歴史資料保存利用機関連絡協議会総会・研究会に参加して― 片倉比佐子 地方史研究三二―二(82・4)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信一五六(82・5)

福岡県地域史研究所開設一年に寄せて 秀村選三 西日本文化一八

一(82・5)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信一五七(82・6)

総理府における国立公文書館設立計画の由来と現況 大久保利謙

『近代文書学への展開』(82・6)

「歴史資料保存法」のころ 木村礎 『近代文書学への展開』(82・6)

『近代文書学への展開』(82・6)

6)

近代公文書学への模索 津田秀夫 『近代文書学への展開』(82・6)

一内政公務員の軌跡―国立公文書館長を退官して― 岩倉規夫

『近代文書学への展開』(82・6)

明治初年、近海道における法令の施行―開拓使文書の体系的把握の

ための試論― 鈴江英一 『近代文書学への展開』(82・6)

福島県における府県史料・皇国地誌の編纂について 菅田宏 『近

代文書学への展開』(82・6)

地方文書館の設置―運営について―茨城県歴史館を例として 佐久

間好雄 『近代文書学への展開』(82・6)

毛利家文庫に対する一考察 広田暢久 『近代文書学への展開』(82・6)

6)

アメリカ合衆国における国立文書館制度の発展 金井圓 『近代文

書学への展開』(82・6)

Adolf Brenneke, Archiv Kunde に ついて 城戸毅 『近代文書学への展開』(82・6)

海外文書館の思い出あれこれ 岩生成一 『近代文書学への展開』(82・6)

(82・6)

インドの古文書館 小西四郎 『近代文書学への展開』(82・6)

明治前期を中心とした政府の記録組織の変遷等について 高橋喜太郎 『近代文書学への展開』(82・6)

戦前公文書の成立過程 横溝光暉 『近代文書学への展開』(82・6)

初期の内閣文庫―研究余録― 福井保 『近代文書学への展開』(82・6)

6)

国際公文書館会議憲章 国立公文書館公文書課 『近代文書学への展開』(82・6)

展開』(82・6)

国際公文書館会議の状況 国立公文書館年報一一(82・6)

将来の文書館像 宇高良哲 埼玉県立文書館報九(82・6)

歴史資料としての公文書 森連 埼玉県立文書館報九(82・6)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信一五八(82・7)

現代史資料の収集と保存を 延島冬生 郷土小笠原を探る二

(82・7)

中世文書と文書館 有川宣博 西日本文化一八三(82・7)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信一五九(82・8)

私設「今泉文書館」 今泉信彦 西日本文化一八四(82・8)

情報公開をめぐる動きとその課題 行政資料課 赤れんが七二

(82・9)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信 一六〇(82・9)

近世史料所在情報体系化試論 山田哲好 国立史料館研究紀要一四

(82・9)

冊子型史料の形態表示について 原島陽一 国立史料館研究紀要一

四(82・9)

地域住民の手で郷土の史料館が建つまで―刈谷市野田史料館の場合

― 加藤鉄衛 国立史料館報三七(82・9)

近世史料所在情報の体系化に向けて 山田哲好 国立史料館報三七

(82・9)

保存管理国際会議ケンブリッジ一九八〇 安沢秀一 史料館報三七

(82・9)

近世古文書学の課題 大野瑞男 歴史評論三八九(82・9)

フランスの文書館制度と地域史研究 渡辺節夫 歴史評論三八九

(82・9)

歴史資料館準備ニュース 京都市史編さん通信一六一(82・10)

史料館の役割について 宝月圭吾 『国文学研究資料館十年の歩み』

(82・10)

歴史資料保存・利用体制と史料館 西垣晴次 『国文学研究資料館

十年の歩み』(82・10)

史料館 『国文学研究資料館十年の歩み』

史料整理に従事して 大藤修 『国文学研究資料館十年の歩み』

(82・10)

近世史料所在情報の整理 山田哲好 『国文学研究資料館十年の歩

み』(82・10)

公共文書館の必要性 江藤彰彦 西日本文化一八五(82・10)

史料館統合問題に対する文部省への要望 歴史学研究五〇九(82・

10)

京都歴史資料館の開館にあたって 森谷尅久 京都市史編さん通信

一六二(82・11)

国立歴史民俗博物館との関係について要望書 史学雑誌九一―一一

(82・11)

明治期の行政資料と文書館 今津健治 西日本文化一八六(82・11)

内閣文庫と国立公文書館 岩倉規夫 『読書清興』(82・11)

北海道立文書館の使命 野沢達夫 赤れんが七四(82・12)

日本の文書館 岩倉規夫 赤れんが七四(82・12)

北海道立文書館の計画 北海道総務部行政資料課 赤れんが七四

(82・12)

北海道立文書館(仮称)設置に関する基本構想 赤れんが七四(82・

12)

文書館と近代文学 赤れんが七四(82・12)

道立文書館への期待 山本武 赤れんが七四(82・12)

欧羅巴文書館疾走記・一九八一年 鈴江英一 赤れんが七四(82・

文書館関係文献目録稿(昭和五十七年)(佐原・石川)

12)

文書館の建設を 原口長之 石人二七九(82・12)

現代史資料の収集と保存を―延島氏に答える 倉田洋二 郷土小笠

原を採る四(82・12)

十八世紀マンチエスタ社会史―関係史料をどう捜すか― 近藤和彦

史学雑誌九一―一二(82・12)

今なぜ公共文書館なのか 高野修 西日本文化一八七(82・12)

一九八三年(昭和五十八年)

シンポジウム「史料保存・利用問題の現在」参加記 茂木陽一 歴

史学研究五一―二(83・1)

大蔵省資料と財政史編集―行政文書の収集・整理・保管の軌跡 大

森とく子 びぶろす三四―二(83・2)

公文書館の役割・機能・運営の実際と課題 法と政策二二(83・2)

国立公文書館見て聞いて 山田博司 赤れんが七六(83・3)

市史編さん室から文書館へ 高野修 我孫子市史研究七(83・3)

第二一回国際公文書館円卓会議報告 菅野弘夫・小林蒼海 北の丸

一五(83・3)

公文書館関係外国文献受入目録―昭和57年― 公文書課 北の丸一

五(83・3)

文化資料館への期待 木村礎 郷土神奈川一三(83・3)

一一三

県史事業の終結と文化資料館の今後の課題 丹羽邦男 郷土神奈川

一三(83・3)

文化資料館開館十周年を迎えて 竹内理三・児玉幸多・霜山富士夫

羽毛田潔・小坂昭三 郷土神奈川一三(83・3)

文化資料館の記録—十年の事業と活動— 郷土神奈川一三(83・3)

開館五周年目を迎えて 各務義章 岐阜県歴史資料館報六(83・3)

建設から設立まで 五十嵐健之 岐阜県歴史資料館報六(83・3)

記念植樹に訪れて 山田三郎 岐阜県歴史資料館報六(83・3)

シンポジウム「大阪における文書館設立を考える」の報告 芝村

篤樹 ヒストリア(83・3)

基礎固めの草分け時代 宗宮平蔵 岐阜県歴史資料館報六(83・3)

近代行政文書の整理と文書館 水野保 国立史料館報三八(83・3)

史料館の役割と史料保存体制 国立史料館報三八(83・3)

第八回歴史資料保存利用機関連絡協議会大会に参加して 安藤正人

国立史料館報三八(83・3)

情報公開と文書館 高野修 地域史研究一二—三(83・3)

山口県文書館と郷土資料 山口暢久 図書館学四二(83・3)

情報公開と公文書館について 都道府県展望二九三・二九四合併号

(83・3)

行政情報センターの実現と歴史資料の保存のために—大阪府公文書

館の基本構想についての提言— 公文書館問題専門家研究会

(83・5)

ドイツの文書館 田北廣道 西日本文化一八九(83・3)

シンポジウム「大阪における文書館設立を考える」の報告 芝村

篤樹 ヒストリア(大阪歴史学会)九八(83・3)

文書館法の制定を望む 松本隆馬 山口県文書館ニュース一七(83・

3)

文書館法に盛るべき内容試案 広田暢久 山口県文書館ニュース一

七(83・3)

文書館の独自性と存立の意義 北川健 山口県文書館ニュース一七

(83・3)

都道府県立文書館設立のあゆみ 小山良昌 山口県文書館ニュース

一七(83・3)

緊急シンポジウム「史料保存・利用問題の現在」傍聴記 戸島昭

山口県文書館ニュース(83・3)

開館迎える県立歴史博物館 滑川良雄 兵庫県の歴史一九(83・3)

南区役所引継文書について 大阪の歴史九(83・4)

「佐賀県古文書館」設置の答申に期待して 細川章 西日本文化一

九一(83・5)

国際公文書館会議の状況 国立公文書館年報一二(83・6)

国立史料館の史料と沿革(古文書めぐり) 原島陽一 古文書研究二

一(83・6)

地域文書館の設立のために 北原進 史誌(大田区史)一九(83・6)

福岡市博物館に古文書部の設置を望む—文書館の芽生えのために—

秀村選三 西日本文化一九二(83・6)

収蔵文書の現況 行政文書・古文書(一) 群馬県立文書館だより一

(83・7)

オーストラリア経営古文書協会とメルボルン大学古文書館 山中雅

夫 経営史学一八一二(83・7)

大学アーカイヴズとはなにか 寺崎昌男 東京大学史紀要四(83・

7)

大学文書館の成立過程 彌永史郎 東京大学史紀要四(83・7)

SAAと大学アーカイヴズについて 小川千代子 東京大学史紀要

四(83・7)

新装なった埼玉県立文書館 山田秀 西日本文化一九三(83・7)

県立公文書館の設立および県庁永年保存文書の公開に関する要望書

奈良県近代史研究会会報二八(83・7)

図書・公文書の保存・公開 谷川健一・梅棹忠夫・世耕政隆 関根

則之・砂子田隆・石原信雄・吉住俊彦 加藤秀俊・久世公堯

『後世に残しうるものを―地域文化と行政を考える―』(83・7)

西ドイツの地域史研究と文書館 阿部謹也 『中世の星の下で』(83・

7)

埼玉県立文書館の現状 森連 地方史研究三三―四(83・8)

ユネスコとアーキヴィスト養成計画 安澤秀一 地方史研究三三―

四(83・8)

ブラック・アフリカ諸国における文書館とアーキヴィスト養成課程

文書館関係文献目録稿(昭和五十八年)(佐原・石川)

安澤秀一 国立史料館研究紀要一五(83・9)

史料の装備と配架 原島陽一 国立史料館報三九(83・9)

ユネスコ本部文書館専門官エヴァンズ博士を案内して 安澤秀一

国立史料館報三九(83・9)

情報公開と公文書館 津留崎直義 地域史研究一三一―(83・9)

ユネスコ本部専門官フランク・エヴァンズ博士を招聘して 国立国

会図書館月報二七一(83・10)

情報公開と文書館 岡田博 埼玉県立文書館報一〇(83・10)

新館建設の経過と概要 埼玉県立文書館報一〇(83・10)

地図の収集について 埼玉県立文書館報一〇(83・10)

福岡県内古文書・古記録類の現状と保存対策 三池賢一 西日本文

化一九五(83・10)

文書資料の散逸防止のため緊急対策 米津三郎 西日本文化一九六

(83・11)

情報公開と文書管理 中村正義 赤れんが八〇(83・12)

大阪における文書館問題の経過 芝村篤樹 ヒストリア一〇一

(83・12)

一九八四年(昭和五十九年)

「筑後農村文献資料センター(仮称)」の提案 石井保磨 県史だよ

り(福岡県地域史研究所)一七(84・1)

収蔵文書の現況 古文書(二) 群馬県立文書館だより二(84・1)
行政における文書管理「生きた施設」の理念と現実 井出嘉憲 社

会科学研究三五―五(84・2)

文書館建設によせる 原口長之 石人二九三(84・2)

資料館に期待するもの 岡本良一 大阪人権歴史資料館報六(84・3)

資料館開館へむけて 大阪人権歴史資料館報六(84・3)

多聞櫓文書について―明治期の目録と由緒書の紹介― 熊井保 北

の丸一六(84・3)

公文書の作成から保存利用までの一貫した管理― FRANK B. EV-

ANS博士の報告書の紹介を中心にして 小林蒼海 北の丸一六

(84・3)

公文書館関係外国文献受入目録(昭和58年) 北の丸一六(84・3)

東寺百合文書の保存・公開・撮影について 京都府立総合資料館紀

要一二(59・3)

ユネスコと文書館 安澤秀一 岐阜県歴史資料館報七(84・3)

教育委員会移管と県歴史資料館―岐阜県史稿を整理して― 鷲見純

司 岐阜県歴史資料館報七(84・3)

戦後岐阜県における史料保存活動の一事例―昭和28年高山市郷土館

の開館とその意義― 伊藤克司 岐阜県歴史資料館報七(84・

3)

郡役所文書「飛驒国勸業資本及起業補助並万波山関係書類」の紹介

岐阜県歴史資料館報七(84・3)

群馬県における明治期公文書の編纂過程と保存規則 阿久津宗二

双文(群馬県立文書館)一(84・3)

歴史資料の保存科学 江本義理 国立史料館報四〇(84・3)

史料の装備と配架(統) 原島陽一 国立史料館報四〇(84・3)

歴史資料保存利用機関連絡協議会総会及研究会参加記 安澤秀一・

原島陽一 国立史料館報四〇(84・3)

座談会 行政資料の保存と公開 作道洋太郎・山中永之佑・高田常

三郎・中西優・高木正捷・川西典夫・八木哲浩 地域研究いた

み一四(84・3)

県下の資料保存の問題点(近・現代史料保存の急務 濃飛史艸三〇)

(84・3)

文書の整理と目録の公刊―今後の課題として― 山下義雄 山口県

文書館ニュース一八(84・3)

情報公開システムの登場と文書館―埼玉県立文書館を見学しての

記― 北川健 山口県文書館ニュース一八(84・3)

文書館論義の出発点―史料協大会を振り返って― 戸島昭 山口県

文書館ニュース一八(84・3)

山口県文書館の公文書(一)収集状況 広田暢久 山口県文書館ニユ

ース一八(84・3)

山口県文書館の公文書(三)閲覧利用状況 小山良昌 山口県文書館

ニュース一八(84・3)

山口県下の公文書目録の刊行状況 百田昌夫 山口県文書館ニユ

ス一八(84・3)

地方史研究協議会と史料保存運動 吉原健一郎 地方史研究三四―

二(84・4)

イギリスの文書館法とアーキヴィスト協会 安澤秀一 地方史研究

三四―二(34・4)

一ヨーロッパ経済史家から見た地方「文書館」問題 石坂昭雄 地

方史研究三四―二(84・4)

歴史史料保存利用と文書館 塚本学 地方史研究三四―二(84・4)

地方史研究と文書館―不二信仰文献を求めて― 岡田博 地方史研

究三四―二(84・4)

企業史料の収集保存と記録管理 中村頼道 地方史研究三四―二

(84・4)

文書館設立発展のための若干の提言―山口県文書館を中心に― 広

田暢久 地方史研究三四―二(84・4)

史料保存機関としての文書館と情報公開 高野修 地方史研究三四

―二(84・4)

東京都公文書館の現状と今後の課題 小林辰男 地方史研究三四―

二(84・4)

福島県歴史資料館の現状と今後の課題 誉田宏 地方史研究三四―

二(84・4)

群馬県立文書館の現状と課題 田中康雄 地方史研究三四―二(84・

4)

フランスの文書館制度について 加藤栄一 日仏図書館研究一〇

(84・4)

大阪市公文書館に関する報告 大阪市公文書館研究会(84・5)

国際公文書館会議の状況 国立公文書館年報一三(84・5)

文書館と人―古文書人口の増加と文書専門員の育成 秀村選三 西

日本文化二〇一(84・5)

地方史と文書館 田中彰 赤れんが八三(84・9)

北海道立文書館の性格及び収集文書―道立文書館の性格と背景―

永井信 赤れんが八三(84・9)

道立文書館と市町村(公)文書 井上肇 赤れんが八三(84・9)

北海道立文書館(仮称)の組織運営・業務及び施設計画 赤れんが八

三(84・9)

文書館に望む 岡田弘子 赤れんが八三(84・9)

文書館に望むこと 田端宏 赤れんが八三(84・9)

道立文書館への希望 瀬戸庄次郎 赤れんが八三(84・9)

「文書館」ネットワークを 畑宮清一郎 赤れんが八三(84・9)

文書館に寄せて 棚瀬善一 赤れんが八三(84・9)

公記録館―ロンドン― 東出功 赤れんが八三(84・9)

群馬県立文書館實際運営の二・三の問題 田中康雄 赤れんが八三

(84・9)

史料保存利用施設の国際環境―史料館―文書館学序論のための覚書

安澤秀一 国立史料館研究紀要一六(84・9)

- 史料保存と歴史資料館 梅津保一 国立史料館報四一(84・9)
特殊形態の史料の取扱い 原島陽一 国立史料館報四一(84・9)
歴史資料利用機関連絡協議会(≡史料協)関東部会設立準備会に参加
して 森安彦 国立史料館報四一(84・9)
英国国立公文書館(探訪記) 千代正明 参考書誌研究二八(84・10)
佐賀県の文書館問題を考える 石井義彦 井本勇 河村健太郎 長
野暹 細川章 村上義一 西日本文化二〇五(84・10)
史料保存機関における閲覧利用のあり方について 広瀬睦 全国歴
史資料保存利用機関連絡協議会関東部会月報二(84・11)
文書館と情報公開 米津三郎 西日本文化二〇六(84・11)
福岡県立南古文書館に期待するもの 三池賢一 西日本文化二〇六
(84・11)
北九州市文書館の建設に関する提言 北九州文書館建設問題懇話会
北九州市文書館建設問題懇話会(84・12)
明治期における東京府の文書管理 水野保 全国歴史資料保存利用
機関連絡協議会関東部会月報三(84・12)
第九回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会総会研究要旨 全国歴
史資料保存利用機関連絡協議会報九(84・12)
大阪府公文書館の基本構想について 高田常三郎 全国歴史資料保
存利用機関連絡協議会報九(84・12)
公文書館問題専門家研究会の提言内容 全国歴史資料保存利用機関
連絡協議会報九(84・12)

- 県行政文書の収集基準をめぐって―茨城県歴史館での経験から―
桜庭宏 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会報九(84・12)
一九八三年大阪大会に出席して 青山孝慈 全国歴史資料保存利用
機関連絡協議会報九(84・12)
発刊十周年を迎えて 松本平治 濃飛史艸三二(84・12)
岐阜県歴史資料保存協会創立十周年についての思い出 石川良宣
濃飛史艸三二(84・12)
文書館と文書管理 大森章男 西日本文化二〇七(84・12)
一九八五年(昭和六十年)
明治期における群馬県公文書の編纂保存管理のプロセス―特に文書
の類別部目について 阿久津宗二 全国歴史資料保存利用機
関連絡協議会関東部会月報四(85・1)
行政文書の保存と整理 丹羽邦男 岐阜県歴史資料館報八(85・2)
史(資)料調査・研究の新段階 松田之利 岐阜県歴史資料館報八
(85・2)
資料館の課題 角竹弘 岐阜県歴史資料館報八(85・2)
岐阜県の誕生と皆学のはじめ―本館収蔵資料より(併せて文書保存
を考える)― 鷺見純司 岐阜県歴史資料館報八(85・2)
昭和三〇年代前半の美濃地方における史料保存施設の建設について
伊藤克司 岐阜県歴史資料館報八(85・2)

いま世界の文書館・史料館は―第十回文書館国際会議参加報告―

水口政次・水野保・安澤秀一・安藤正人 全国歴史資料保存利
用機関連絡協議会関東部会月報五(85・2)

群馬県における明治期行政文書の作成と施行―令達および文書事務

関係規程にみる― 小暮隆志 双文二(85・2)

『明治期東京府文書編さん保存関係規定集』 東京都公文書館(85・

3)

北海道史研究と文書館 永井秀夫 赤れんが八四(85・3)

新しい時代に即した文書管理を 石井徳洪 赤れんが八四(85・3)

〔道立文書館のしごとと問題点〕道立文書館の業務と役割 青木裕道

赤れんが八四(85・3)

〔道立文書館のしごとと問題点〕「酸性紙」問題について―図書・文

書等の寿命をめぐる 中村正俊 赤れんが八四(85・3)

〔道立文書館のしごとと問題点〕文書館新事情―私文書の収集に關す

る対話的解説― 鈴江英一 赤れんが八四(85・3)

北海道立文書館常設展示計画の基本構想―文書が語る北海道の歴史

― 赤れんが八四(85・3)

文書館資料収集基準(案) 赤れんが八四(85・3)

「北海道立文書館」への期待 寺島敏治 赤れんが八四(85・3)

利用者の一人として文書館に望むこと 浅利政俊 赤れんが八四

(85・3)

文書館に望む 田崎勇 赤れんが八四(85・3)

文書館関係文献目録稿(昭和六十年)(佐原・石川)

文書館によせて 星玲子 赤れんが八四(85・3)

イル・エ・ヴィレーヌ県立文書館 藤田苑子 赤れんが八四(85・

3)

山口県文書館の神話のマンジュウ館 北川健 赤れんが八四(85・

3)

情報公開制度と琉政文書 照屋寛裕 沖縄史料編集所紀要一〇(85・

3)

第十回国際公文書館大会報告 菅野弘夫・小林蒼海 北の丸一七

(85・3)

公文書館関係外国文献受入目録(昭和59年) 北の丸一七(85・3)

国際公文書館週間関係英文資料(一九八〇―八四) 公文書課編 北

の丸一七(85・3)

文献紹介―英国『公文書その他』記録管理便覧・東ドイツ『ドイ

ツ民主共和国の公文書制度―理論及び実務』 小林蒼海 北の

丸一七(85・3)

国際公文書館週間記念講演「歴史学と近代公文書学との関連につい

て」津田秀夫 北の丸一七(85・3)

多聞櫓文書整理の現状・江戸時代幕府史料目録化の試み 津田秀夫

曾根妙子・内田竜哉・大賀妙子・氏家幹人 北の丸一七(85・

3)

近代史料における私文書について―その価値と保存― 海野福寿

国立史料館報四二(85・3)

「全史料協」に期待すること―第十回全国大会に参加して― 安藤

正人 国立史料館報四二(85・3)

第十回史料館国際会議ボン一九八四と研修セミナー 安澤秀一 国

立史料館報四二(85・3)

栃木県文書館設立準備の経過と今後の課題 阿部昭 全国歴史資料

保存利用機関連絡協議会関東部会月報六(85・3)

収蔵館の四季 平野清 新潟県文化財収蔵館報四(85・3)

諸資料の「燻蒸」について 小野塚謙士 新潟県文化財収蔵館報四

(85・3)

なぜ情報公開制度が必要か―その課題と問題点―藤沢市における

制度化への研究から― 田中仁之・古谷一幸・山下泰雄 藤沢

市文書館紀要八(85・3)

情報公開と資料の保存、廃棄―公文書的チェック機関の設置を要望

する― 秀村選三 西日本文化二〇九(85・3)

文書館改築の経過と概要 藤沢市文書館紀要八(85・3)

文書館設立への提言 山下義雄 山口県文書館ニュース一九(85・

3)

広島県の文書館設立の朗報と対話 北川健 山口県文書館ニュース

一九(85・3)

探訪・史料保存機関の現状 戸島昭 山口県文書館ニュース一九

(85・3)

福岡県内の史料保存施設―福岡県立図書館を訪ねて 吉本一男 山

口県立文書館ニュース一九(85・3)

文書館業務の反省と課題 広田暢久 山口県文書館ニュース一九

(85・3)

『琉政文書がうったえるもの』 渡口善明 (85・3)

「地方史研究と文書館」(Ⅱ)の特集にあたって 地方史研究三五―

二(85・4)

史料保存をめぐる問題と課題―『地方史研究』一八八・特集「地方

史研究と文書館」の論点・整理を通じて― 大藤修 地方史研

究三五―二(85・4)

シンポジウム―史料保存と文書館 地方史研究三五―二(85・4)

徳島県における文書館設立運動の現況―地域文化創造の拠点として

― 泉康弘 地方史研究三五―二(85・4)

北海道立文書館設立準備の現場から―背景・経過・課題について―

大庭幸生 地方史研究三五―二(85・4)

史料保存利用機関における利用とサービス 広瀬陸 地方史研究三

五―二(85・4)

文書館設立の運動と推進協議会規約 河野幸夫 ふるさと阿波一二

二(85・4)

広島県立文書館問題について(Ⅰ) 芸備地方史研究会委員会 芸備

地方史研究一五〇・一五一(85・5)

史料整理と検索手段作成の理論と技法―欧米および日本における現

状と問題点― 安藤正人 全国歴史資料保存利用機関連絡協議

会関東部会月報八(85・5)

文書館紀要一(85・8)

第十回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会総会研究会要旨 全国

中性紙化考える 松田勝伸 文書館紀要一(85・8)

歴史資料保存利用機関連絡協議会報一〇(85・6)

広島県立文書館問題について(2) 芸備地方史研究会委員会 芸備

第一分科会研究協議要旨―文書館の管理運営について 全国歴史資料

地方史研究一五三(85・8)

料保存利用機関連絡協議会報一〇(85・6)

近世資料の整理と目録編成の理論と技法―信州松代八田家(商家)文

第二分科会研究協議要旨―文書館と情報公開 全国歴史資料保存利

書の整理と目録編成を事例に―大藤修 国立史料館研究紀要

用機関連絡協議会報一〇(85・6)

一七(85・9)

海外文書館事情(報告要旨) 安藤正人 全国歴史資料保存利用機関

史料整理と検索手段作成の理論と技法―欧米文書館の経験と現状に

連絡協議会報一〇(85・6)

学ぶ 安藤正人 国立史料館研究紀要一七(85・9)

大会参加記 吉本一雄 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会報一

イギリス Public Record Office 所蔵近代日本関係文書について

〇(85・6)

(楠家重敏 古文書研究二四(85・9)

第十回埼玉大会に参加して 山際実 全国歴史資料保存利用機関連

道立文書館への期待 高倉新一郎 赤れんが(北海道立文書館報)創

絡協議会報一〇(85・6)

刊号(85・10)

文書館業務におけるパソコン利用の可能性 田中康雄 全国歴史資料

道立文書館設立経過 赤れんが創刊号(85・10)

料保存利用機関連絡協議会関東部会月報九(85・6)

文書館の概要 赤れんが創刊号(85・10)

文書館のめざすもの 山田武麿 群馬県立文書館だより五(85・7)

展示室資料紹介(二) 赤れんが創刊号(85・10)

『北海道の歴史と文書』北海道立文書館開館記念誌(85・7)

北海道立文書館条例 赤れんが創刊号(85・10)

行政文書整理試論―総目録第二集を編集して― 原由美子 文書館

文書館学とアーキビスト養成への取り組みを―「第十回文書館国際

紀要(埼玉県立文書館)一(85・8)

会議」に参加して―安藤正人 歴史学研究五四六(85・10)

文書のカラ―撮影における諸問題―ストロボによる撮影を实践して

『史料館・文書館学への道―記録・文書をどう残すか』安澤秀一

栗田亨 文書館紀要一(85・8)

吉川弘文館(85・10)

本館における教育普及活動―古文書解説講座・講習会― 小暮利明

史料保存利用施設の地方的意義―国際的関連において― 安澤秀一

文書館関係文献目録稿(昭和六十年)(佐原・石川)

郷土神奈川一七(85・11)

一九八六年一月〜三月(昭和六十一年)

文書館の施設及び業務について―藤沢市文書館の場合― 石井修

郷土神奈川一七(85・11)

安田講堂の再生と大学アーカイヴス 稲垣栄三 東京大学史紀要五

国立公文書館を訪れる 言語生活四〇八(85・11)

(86・2)

閲覧制度と公開制度とのかかわりについて 水口政次 アーキビス

情報資源・記録管理・文書保存―史料館・文書館の役割と意義―

ト(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会会報)一〇

安澤秀一 東京大学史紀要五(86・2)

(85・11)

図書館員から見た百年史編集室 薄久代 東京大学史紀要五(86・2)

近世史料の整理と目録編成の理論と実務 大藤修 アーキビスト一

百年史編集室の史料を利用して 羽田貴史 東京大学史紀要五(86・2)

〇(85・11)

2)

地名資料館の設立を目指して―日本地名研究所の活動― 谷川健一

東京大学百年史編集室の活動と刊行物 伊藤隆・山口元子 東京大

地誌と歴史三六(85・11)

学史紀要五(86・2)

『公文書館―大阪府公文書館開設記念―』大阪府公文書館(85・11)

東京大学史料センター(仮称)設置の提案 東京大学百年史編集室

現代史の宝庫をひらく 早山豊 地域史研究一五―二(85・12)

専門委員会 東京大学史紀要五(86・2)

福岡市博物館に文書部門を 秀村選三 西日本文化二一七(85・12)

東京大学百年史編集室収集史料の措置について 東京大学史紀要五

世界を人権で結ぶ ミュージアム―リパティおおさか 歴史と地理三

(86・2)

六四(85・12)

「東京大学関係諸資料の保存と利用に関する予備的研究」報告書お

山形県史と史資料の保存 長岡清之 山形県地域史研究一一(85・12)

よび同「附属資料」抄録 東京大学史紀要五(86・2)

12)

図書館と文書館(アーカイヴス) 長沢雅男 東京大学紀要五(86・2)

史料保存と歴史資料館 梅津保一 山形県地域史研究一一(85・12)

閲覧室より 赤れんが二(86・3)

12)

展示室資料紹介(二) 赤れんが二(86・3)

品川歴史館建設の経過―品川区の文化の一拠点として― 品川歴史

館紀要一(86・3)

役場に記録の収蔵室を 原口長之 石人三一八(86・3)

文書館における近世文書の目録作成をめぐる(上)―コンピュータ

化環境の中での問題点 田中康雄 双文三(86・3)

地方史研究における史料館・文書館の役割―西ドイツの地方文書館

制度から学ぶ― 安澤秀一 地域史研究一五―三(86・3)

開館五年の収蔵館 小野塚謙士 新潟県文化財収蔵館報五(86・3)

アジア・太平洋地域文書館学トレーニング・センターの設立に向け

て マニラ会議に参加して 千代正明 びぶろす三七―三(86・

3)

行政文書の保存及び管理業務の現状 福原徹 藤沢市文書館紀要九

(86・3)

全史料協全国大会参加記 藤沢市文書館紀要九(86・3)

国立史料館問題の現状―一九八二年行政監察勧告とその後― 北原

進 歴史学研究五五二(86・3)